

「骨寺通信」第40号

発行:本寺地区地域づくり推進協議会

岩手県一関市敵美町字駒形154-3 骨寺村荘園休憩所内



骨寺村荘園 お田植体験交流会



5月29日(日)、要害館下付近の圃場にて『骨寺村荘園 お田植体験交流会』が開催されました。震災復興の取り組みに考慮し、例年の『お田植祭』から名称を変更して行なわれた今年は、荘園オーナーの皆さんをはじめ、近隣の旅館に滞在されている被災地の皆さんもご招待し、約150名の方にご参加いただきました。

当日はあいにくの雨降りでしたが、骨寺村荘園ならではの小区画水田に足を踏み入れ、昔ながらの手植えでの田植えを行いました。笑いもこぼれる楽しい雰囲気の中、14枚1600平米の田んぼにはきれいに苗が植えられました。

昼食時には、地元のお母さんたちが“おいとこ”を披露し、皆さんから大きな拍手が起きました。



新緑の季節を告げる

栗駒山の白キツネ

骨寺村荘園から西に見える栗駒山(地元では須川岳とも言います)。白一面だった山肌も、次第に雪が溶けてきます。そして5月になると、骨寺から見える山頂付近には残雪がキツネの形に見えてきます(わかりますか?)。このキツネが見える時期が、まさに田植えの時期と言われています。

残念ながら、今年のお田植体験交流会では栗駒山が見えませんでした。きつねは、きつねが見守っていたことでしょう。



里の田畑は種蒔きや定植の時期ですが、山には今が旬の山菜がたくさんです。タケノコやワラビをはじめ、ウド、フキ、ウルイ、ミズなど、数多くの山菜が楽しめます。

古曲田家向かいの産直『柳の里』でも、獲れたての山菜を豊富に取り揃えております。骨寺にお越しの際には、是非お立ち寄り下さい。

山菜が豊富です

